菅義偉前内閣総理大臣来町

2月18日、菅義偉前内閣総理大臣が上士幌町の取り組みを視察しました。

中川郁子衆議院議員、黄川田仁志衆議院議員、鈴木直道北海道知事も同行し、㈲ドリームヒルのバイオガスプラントや認定こども園を訪れ、自動運転バスにも乗車しました。

ハレタかみしほろでは竹中町長や町内で起業した方などと昼食を食べながら懇談し、菅氏は本町のふるさと納税の取り組みに触れ、「上士幌町はふるさと納税を、地域を考え、地域の皆さんのために使っている。これからも応援したい」と話しました。

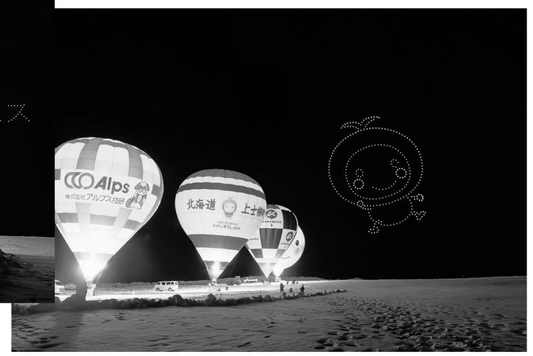
2/23　かみしほろ塾2022年度総合講座開催

2月23日、生涯学習センターわっかでかみしほろ塾２０２２年度総合講座が開催されました。

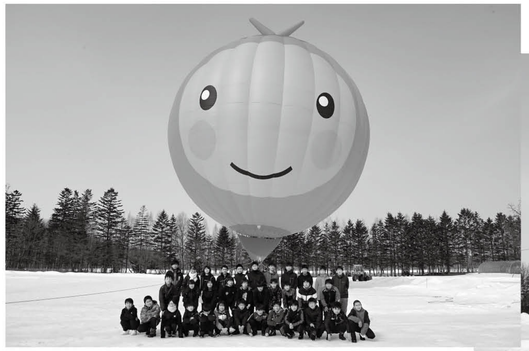
今回は「可能性への挑戦 - 持続可能なまちづくり -」をテーマとし、自動運転バスの試乗やスマートフォンですべて完結できる無人店舗「スマートストア」の体験、ＡＲ（拡張現実）とスポーツを組み合わせたＨＡＤＯ体験など、さまざまなブースで賑わいました。

特別講演では舞の海秀平氏が登壇し、「辛い世の中だが沢山笑って、人生を楽しんでほしい」と話しました。

3/3-4 ドローンショー



3/8 上小卒業記念係留



2/28 大学合格者インタビュー 未来にはばたく上高生

上士幌高等学校の2022年度卒業生の進路が決まりました。今年度は進学が15名、就職が21名で（３月１日現在）、進学者のうち４年制大学には４名が合格しました。

滋賀県立大学環境科学部に合格した有賀孝太郎さん（写真）は、「進学講習を受講しているのが自分一人だったから苦労した」と振り返り、後輩へ「自分は受験勉強を始める時期が遅かったので、早くから取り組んで、頑張ってほしい」とエールを送りました。

２・３月のまちのわだい

▲３月１日、上士幌高等学校の卒業証書授与式が行われました。

▲２月20日、100歳を迎えられた坂田ヨシノさんに、祝金が贈呈されました。

令和４年度 上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式

３月11日（土）、生涯学習センターにおいて『令和４年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式』が行われ、本町の文化の向上やスポーツの振興に功績のあった 団体、個人が各賞を受賞されました。

文化賞・スポーツ賞等 各賞受賞者

（敬称略）

✽ 文化賞《個人》

竹　丸　雅　子

✽文化奨励賞《団体》

上士幌高等学校吹奏楽部／上士幌中学校ＰＴＡ

✽少年文化奨励賞

吉　澤　莉　央／延　與　柚　妃／巴　　彩　香

✽スポーツ賞《功労》

上士幌町糠平スキー連盟／野々村　敏　三

✽ 少年スポーツ奨励賞《個人》

楠　　華　奈／鈴　江　莉　世／石　川　優　和
北　澤　星　來／福　澤　芯之助／田　中　理　心
新　津　愛　理／森　田　晴　水

✽少年スポーツ奨励賞《団体》

❖上士幌ミニバスケットボール少年団

星　　碧　海／巴　　崚　亮／早　坂　　翔
横　山　太　一／髙　橋　来　斗／谷　口　雛　汰
平　尾　翔　夢／横　山　汐　琉／早　坂　　侑
平　尾　篤　夢／延　與　英　雄／本　村　凌　央

❖上士幌中学校卓球部

阿　部　このか／荒　木　花　萠／伊　藤　史　蘭
新　津　愛　理／矢　戸　晴　菜／市　田　愛　奈
小　川　梨　乃／石　井　愛　菜

✽少年スポーツ努力賞《個人》

四　戸　篤　成／老　月　翠　春／石　川　優　月
鈴　江　菜　都／石　井　愛　菜／阿　部　このか

✽少年スポーツ努力賞《団体》

❖上士幌中学校サッカー部

糸　島　未　羽／坂　本　悠　馬／佐々木　里　桜
千　年　咲煌也／髙　橋　優　斗／平　野　魁　斗
村　上　唯　衣／伊　藤　　誉／佐々木　　碧
中　田　一　慶

❖上士幌中学校男子バスケットボール部

山　本　晴　琉／伊　東　　岳／田　中　紬　棋

❖上士幌中学校女子バスケットボール部

賀　陽　結　菜／泉　田　瑠　花／武　藤　舞　香
菅　原　彩　世／平　尾　莉　夢

❖上士幌高等学校卓球部

佐　藤　煌　太／大　下　瑛　丸／髙　木　優　樹
岡　田　壮　太／齊　藤　伊　吹／佐々木　翔　矢
竹　澤　京　哉／小　林　友　大／沼　山　陸　斗

上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第５回「ゼロカーボン推進プロジェクトチーム」開催！

３月1日、第５回プロジェクトチームを開催しました。前回の会合終了後、小・中学生や高校生からもSDGsや環境に配慮した行動内容を募集し、約200にのぼるアイデアが提案されました。今回のプロジェクトチームでは、こうしたアイデアをメンバー内で共有し、住民への普及・浸透に向けてどのような活動が効果的であるかなどの議論を行いました。

令和４年度のプロジェクトチームの活動は今回で終了となりますが、次年度以降もこれまでの議論を踏まえ、皆が楽しみながら行動を見直すきっかけづくりとして、SDGsポイント制度の構築に向けた検討を進めていきます。

上士幌小学校をはじめとした出前授業・講座を実施！

現在、上士幌小学校の５年生を対象に、年間30時間のSDGs授業を行っていますが、２月７日には、上士幌中学校の総合的な学習の中で、「環境と調和した持続可能な農業とエネルギーの地産地消」をテーマとした授業を行いました。

また、２月23日に開催された「かみしほろ塾」では、太陽光発電設備の設置に関わる補助金の相談窓口の開設をはじめ、SDGsやゼロカーボンなど、本町が進める持続可能なまちづくりについて紹介しました。

国内外へ積極的な普及啓発活動を展開中！

本町の魅力や将来性の発信として、積極的に普及啓発活動を行っています。

２月７日には、内閣府が主催する「地方創生SDGs国際フォーラム2023」に竹中町長が招待され、「カーボンニュートラル・デジタルを原動力とした地域課題解決」をテーマとしたセッションにおいて、MaaSプロジェクトを中心とした事例紹介を行いました。

また、２月18日には菅前首相が来町され、バイオガスプラントや子育て環境の現場を見学されたほか、自動運転バスの乗車、ドローン配送の実演など、本町が進めるまちづくりについて紹介しました。

令和4年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No.60
令和 5 年
3 月24日

TITLE：「第60回卒業証書授与式」

３月１日に第60回卒業証書授与式が行われました。この卒業生はコロナとの闘いの学年でした。新入生のみの入学式、臨時休校。分散登校も経験し、１年生の時の学校祭は中止になるなど、行事は中止や規模を縮小されました。しかし今回は、保護者の制限はあったものの、吹奏楽の演奏もある中で、38名を盛大に見送りました。式の２週間程前にマスクがなくとも可と通知がありましたが、生徒の８割はつけていて、もはや「当たり前」になったのかと感じました。また、民法改正で18歳成人になった初めての学年でした。

△校長から証書を受け取る卒業生

△３年間一緒に学んだ仲間と一緒に

このような中でも生徒たちは晴れ晴れとした表情で卒業していきました。これからの変化の激しい社会で、思いっきり活躍していってほしいです。

上士幌高校新聞局通信

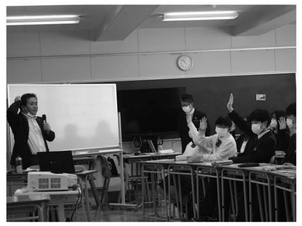
月刊 上高

難しかった「金融リテラシー」

文責 後藤 翔稀

２月24日、私たち２年生は２時間続きの家庭総合で北海道銀行芽室支店の川田啓一さんを講師に迎え、「知っておきたい金融リテラシー」という授業を受けました。前半は「今はお金の価値が下がっている時代です」という内容で、色々なものが値上がりしているのに、銀行に預けても利子がほとんど増えないということを、スマホで銀行のシミュレーションを体験しながら勉強しました。でも正直言ってよく分かりませんでした。後半は車の購入や家を建てるなど、これから先で必要になる大きな支出に備えるには「資産運用」ということが必要で、その説明もしてくれましたが、これも良く分かりませんでした。でも途中でスマホを使って世界のビッグマックの値段を調べるのは楽しかったです。

△スライドショーで説明してくれましたが、難しかったです



△自分名義の通帳を持ってる人？という質問に答えています

△スマホやパソコンで利子のシミュレーションをしています

Kamishihoro High school

町民文芸

短歌

「結婚しようよ」唄は朝よりながれゐて空あを青と輝きゐたり　本間栞風

焼きたての切り口に見ゆ竹炭の活きているかに虹いろ放つ　尾野よし乃

コロナ禍はいつまで続く雪どけの進む三月青天の今日　瀬戸洋明

父や母家族そろって旅行したディズニーランドも楽しかったよ　高木誠也

雪が解け道の辺に咲く福寿草暖かくなるのを待ちわびゐたり　加藤秋子

花見する上野公園沢山の人ら歩いて立ちどまるなし　鈴木豊

毎月の誕生会が無くなるけれどここでの出会い未来に続け　中濵夏希

三月に入りて雪どけ進みたり青天の朝白鳥とび行く　高橋博明

三月はまだまだ寒く雪残り春が来るのはもう少し後　米森真弓

空オケの中に非日常感じつつひととき歌に没頭したり　松田理恵

べに色のハイビスカスは咲き継ぎて寒き今宵も我が心癒す　石川裕子

編集後記

➲ 広報担当に異動してから５年が経ちました。４年目までは二人で製作していましたが、最後の１年は一人ぼっちで作り続けました。

特に今年度は、コロナ禍から脱却しつつあった一年でしたので、これまでの反動でイベント数も大きく増え、ほとんどの土日は取材と製作に明け暮れる日々でした。そのせいもあって、DTP技術（主に速度）とカメラ技術が大きく伸びた気がします。その集大成が今月号であり、過去最多のページ数となっております。単純に分厚くて見づらいですよね。申し訳ありません。

何はともあれ、皆さまのおかげで無事５年間60号を発行することができました。今まで本当にありがとうございました。…T

広報かみしほろ 5月号は4月25日（火） 発行予定

戸籍の窓口

令和５年 ２ 月末現在の 人口

男　性	2,393人（-11人）
女　性	2,469人（-1人）
人　口	4,862人（-12人）
世帯数	2,567世帯（-10世帯）

令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

2 月分	1,935 件
	29,922,000 円
累計	92,461 件
	1,431,750,500 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※３月３日現在

寄　付（3/14まで）

➲２月28日、生山正三様が、町の振興のため100,000円を寄付されました。

➲３月14日、国際ソロプチミストおとふけ様が、教育・文化の振興のため30,000円を寄付されました。